

# 報 告 書

大田原市広報広聴委員会委員長 大豆生田 春美 様

大田原市議会 第3班班長 菊池久光

大田原市議会報告会実施要項第9条第1項の規定により、下記のとおり報告いたします。

## 記

1. 日 時 平成29年 6月28日(水) 午後 7時00分～ 8時30分
2. 会 場 須賀川出張所
3. 担当議員と役割  
【担当議員】

菊池久光	(班長)
菊池久光	(司会者)
前野良三	(総務常任委員会発表者)
桜井潤一郎	(民生 " )
大豆生田春美	(建設産業 " )
弓座秀之	(文教 " )
本沢節子	(民生 " )
4. 参加者 別紙受付表のとおり
  - ・市内 15名(男性13名、女性 2名)
  - ・市外 0名(男性 0名、女性 0名)

## 5. 意見交換会の内容

- 区長会議に出た意見として、県道わきの雑草の除草作業をして地域の環境を良好に保ちたいが、参加者が高齢の為思うように作業が進められない。高齢者なので無理をせず怪我をしないようにやっているのが現状。若い人がいないのでしかたがないが、市の支援が必要である。
- 自分で買い物に行けない高齢者が増えてきている。高齢者がまとめて注文できるシステムのようなものがあると良い。見守り隊としても、生協の注文書の要望やコンビニの移動販売を要請してみたが、費用てきな問題や距離の問題から難しいとのことであったが、4月にセブンイレブンの移動販売のお試しをしていただいたときには、地元ではすごく好評であった。自分で好きなものを購入できる移動販売は良いと思う。
- 農家民泊に参加しているが、お客さんの感想が知りたい。移住定住や観光客を呼び込むのに効果はあるのだろうか。
- 若い人が定住するには仕事や学校が必要。  
道路が良くなると土地買収で土地を売った人が地域から転出してしまい人口が減ることに矛盾を感じている。何とかならないものか。  
現在、商売をしているがここでは商売がなりたたないし、新規参入なども期待ができない。
- ぐらしの館や道の駅にある大田原市の観光案内の地図に、須賀川の事が詳しく書いていないので、観光スポットなど(鹿嶋神社や旧須賀川小学校位は)を表記してほしい。新茶まつりや、そばまつりにくる観光客が案内標識が少ないので道に迷ってしまう。もっと解り易くするために増やしてほしい。  
唐松峠に案内標識がほしい。道を聞かれても目印が無いので答えられない。
- 単発のイベントはあるが、年間を通して観光客を呼べるアイデアはないか。お茶やそばも美味しいのにもったいないが、お店をやっても経営がなりたたない。
- 山の会で、畑を花畑にして観光客を呼べないかななどの意見もでていますが、高齢なので地域だけでは無理、市の支援が必要。公衆トイレなども整備してほしい。
- 病院が無いのに、遠くの病院に行く交通手段も限られている。急な病気に対応できない。
- 市街地と同じ施策や支援ではなく、地域にあった5年・10年先を見越した施策が必要。空き家も増えているので、防犯や火災も心配。この地域にあった空き家対策が必要。
- バス停を見直してほしい。歩道が無く、道路と私有地ギリギリの所にあるバス停もあり、朝の通学時のバスを待っている子供の脇を、高齢者の車が通過していくので危険である。以前は家の近くで下してもらえらることもあったが、現在はバス停でしか降ろしてもらえない。
- 1人暮らしの高齢者への見守り活動が近所の助け合いだけでは限界。地域全体としての高齢者対策や支援が必要。

- 鳥獣被害の件、鹿が(両郷地区の方から南方へ)入ってきた。樹木が鹿に食い荒らされて全滅になってしまう。将来が心配、補助金等があるが、県と市とタイアップして早急な対応・対策に努めてほしい。
- 建設産業常任委員会、鳥獣被害対策の問題、大田原市内で取ったことはあるのか、また、ワナはかけてあるのか。
- ワイヤーの委託をしている人は何人ぐらいいるのか。
- 狩猟の人、須賀川では2名しかいない。何とか増やせないものか。
- マイナス思考でなくて、プラス思考でなんとか対策をしてほしい。重点的なところを絞ってやるとかできないか。
- 電気柵3分の2補助を全額補助にできないか。ハクビシン、猪で作物ができない。
- 市の職員に狩猟免許を取らせられないか。
- 里山の補助は5年くらい過ぎてだんだん無くなってきて、もう今年はないのですか。継続してやってきたところ、きれいになったところが元に戻ってしまう。
- 里山の補助、雀の涙。何かあった時事故が怖いので、保険だけは入らなければならない。
- 猪の件、里に出る猪の駆除をしっかりと捕獲対策をとってほしい。
- 鳥獣捕獲実施隊として、もう一步踏み込んだ、須賀川地区にモデル地区を作って対応をしてほしい。
- 消防サイレンを何とかしてほしい。予算があり大変ということで市ではできないと断られている。あとは議会の方から意見として言ってほしい。音で知らせるのが一番早い。避難場所もわずか2カ所しかなく、火事だけではなく、その他の災害の時もサイレンを鳴らして頂くことで危険を知らせることができる。是非、お願いしたい。
- 貧困家庭の件、市内の状況についてどのようになっているのか。
- 介護認定の件、人によってばらつきがあってなかなか認定してもらえない状況があるとの声。条件基準の中で平らな見方をしてほしい。
- 教育者の件、教員の帰宅が遅いのはどうしてか。遅い時間まで学校に電気がついている。先生方も家庭・家族があるはず。
- 野焼き等が条例の中でも規制があって厳しくなっている。地域によって燃やせない場所と、燃やせる場所の環境の違いがあっても良いのでは。

## 6. 議会報告会の所感等

- 中山間地域のため、鳥獣被害に対する要望が多かった。被害が増加傾向にあり早めの対策が必要であると感じた。
- 消防サイレンは多くの方が望んでいる。音で危険を知らせることは早いし確実であるので、何か方法を考えていくべき。
- 高齢化が進んでおり、買い物の問題、介護の問題など、多くの方が悩み不安を感じている。
- 野焼きができない状況にはあるが、地域によっては樹木の伐採、草刈り等ででた大量のごみ処分に困っている実態があることを感じた。